

令和5年度 学校経営構想

1 教育目標

「笑顔あふれる子どもの育成」

めざす子どもの姿

- (1) 学習大好き かしこい子ども 「かしこく」(確かな学力)
- (2) みんなを大事に 豊かな子ども 「ゆたかに」(豊かな心)
- (3) 明るく健やか 元気な子ども 「すこやかに」(健やかな体)



2 指導を通して育成を目指す資質・能力

- (1) 主体性と協働性
- (2) あきらめない粘り強さ
- (3) 問題解決能力

3 経営の重点

(1) 「学習大好き かしこい子ども」の育成

＊真理探究の楽しさを味わう授業の創造

- ・好奇心を大切にしたい試行錯誤ある「子ども主体の授業の日常化」

＊家庭との連携に基づく系統性をもった家庭学習の習慣化

(2) 「みんなを大事に 豊かな子ども」の育成

＊仲間とともに課題を解決する「子ども主体の学級づくり」

＊行事を通して豊かな人間関係を育む

- ・縦糸を編む「スポーツフェスティバル」、横糸を編む「はばたき発表会」

(3) 「明るく健やか 元気な子ども」の育成

＊すくすく週間の実施によるリズムある規則正しい生活習慣づくり

＊啓発学習の実施

- ・メディアとのつきあい方(3・4年:山教販 5年:通信会社 6年:警察)
- ・喫煙防止教室の実施(5年:学校薬剤師)
- ・AED・心肺蘇生法学習会(6年:消防署)
- ・薬物乱用防止教室(6年:学校薬剤師)
- ・いのちの学習の計画的な実施

(4) 地域連携活動の推進

＊山形中央高校との連携活動の推進(スポーツテスト・水泳教室・図工等)

＊地域学習、地域に題材をとった学習の推進(生活科・総合的な学習など)

4 教育課程編成に向けて

(1) 学習指導要領に沿った教育

① 外国語教育の充実

- ・English Day/English Room及びALTを活用した授業

② 道徳教育の充実

- ・問題解決的な学習や体験的な学習をを意識した指導
 - ・いじめ問題への対応の充実、発達段階を踏まえた指導・支援
- ③プログラミング教育 前年度までの年間計画を改善・修正しながら実施。
校内研修も計画的に実施していく。

(2) 行事等の検討

- ① スポーツフェスティバル…秋に実施
- ② 6年修学旅行……………11月に実施/2年ごとに担当業者選定の入札を実施
* 次回は令和6年度入札実施(前年度から検討)
- ③ 5年宿泊学習……………1泊2日で実施(6月末~7月初)
- ④ 特別支援学級の自然の家学習……日帰り体験学習(7月)
- ⑤ はばたき発表会……………11月に3学年ずつの分散開催
- ⑥ 家庭訪問……………実施しない

6月に1年生と特支は全家庭、他学年は「六小教育週間」として希望家庭と面談を行う。

⑦ スキー教室について

- * 1・2年生 市少年自然の家
- * 3年生 猿倉(蔵王)2回実施
- * 4年生 蔵王で2回実施
- ※ 5・6年生はなし。

(3) 学級編成……………毎年度、全学年で実施

(4) 吹奏楽部……………存続する方向で進める

- ① 市吹奏楽発表会への参加をメインの目標とする。
- ② 吹奏楽連盟への加盟はしない。
- ③ その時の部の状況、子どもの願いを勘案して大会参加、演奏形態等について決定する。

(5) 学力の向上

「主体的・対話的・深い学び」「探究型学習」「協働的学び」の具体的姿の共有
学習資源の有効活用・・・立地 オープンスペース 人的資源の発掘
学校の情報化への対応
学習評価の在り方・・・「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう
人間性」の3観点で評価→粘り強さ・自己調整力
通知表・・・通知表は年2回(10月…3月)10月は個別面談で配付。
3月は所見ありのものを児童に配付する。

(6) タブレット1人1台を有効活用

GIGAスクール構想によるタブレット1人1台の導入にあたり、有効活用できるように
校内研修を計画的に行い、SOCIETY5.0に対応できる子どもを育成する。

(7) 六小教育の日・・・5~2月まで、月1回希望者への面談日を設ける。必要に応じて、担
任から声をかけて面談を実施することもある。

(※6月は「六小教育週間」があるのでなし。)

(8) 働き方改革・・・子どもと向き合うための時間の確保・六小らしさ・伝統として守るべき
もの等の取捨選択。

適材適所による校務分掌

定時退校日の設定(原則第2・4週の金曜日)